

## 商品概要

### 銘柄名

ダイワ・インド株ファンド

### ファンドの特色

主として、ダイワインド株マザーファンドの受益証券を通じて、インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

インドの企業の株式から、企業のファンダメンタルズ、成長性等を総合的に勘案して銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、SBIファンズマネジメントプライベートリミテッドの助言を受けます。

原則として為替ヘッジは行いません。

毎年3、6、9、12月の各7日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。

※分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益含む）等とします。

原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配をおこなわないことがあります。

「分配金支払コース」と「分配金再投資コース」があります。

### 委託会社

大和投資信託

### 申込概要

### 買付単位

1万円以上1円単位又は1万口以上1口単位

### 約定日

申込日の翌営業日

### 受渡日

申込日を含めて6営業日目

### 信託期間

平成20年6月13日～平成30年6月7日

### 申込手数料

購入申込み金額に下記の手数料率を乗じて得た金額とします。

1000万円未満	3.150%	(税込み)
1000万円以上1億円未満	2.100%	(税込み)
1億円以上	1.050%	(税込み)

### 信託報酬

純資産総額に対して総額 1.764% (税込み)

### 信託財産留保額

なし

### 解約手数料

なし

### その他費用

- ・ 監査報酬
- ・ 有価証券の売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用
- ・ 資産を外国で保管する場合の費用など
- ・ 信託報酬、監査報酬および売買委託手数料に対する消費税等に相当する金額
- ・ 信託事務の処理に要する諸費用など

※当ファンドのその他費用については、保有期間や売買条件等によりご負担額が異なりますので、表示することは出来ません。

※税制が改正された場合等には、内容が変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください

### 本ファンドの主なリスク 価格変動リスク

当ファンドは株式など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)等をよくお読みいただき、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご本人の判断と責任においてお申込み下さいませようお願いいたします。

## ダイワ・インド株ファンド

### ① 株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります。（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額は、株価変動の影響を大きく受けます。

新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が、小さく流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。

### ② 株価指数先物取引の利用に伴うリスク

株価指数先物の価格は、対象指数の値動き、先物市場の需給等を反映して変動します。先物を買建ている場合において、先物価格が上昇すれば収益が発生し、下落すれば損失が発生します。（売建ている場合は逆の結果となります）

### 外国証券への投資に伴うリスク 為替リスク

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨資産について当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドにおいて、保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。その為、基準価額は為替レートの変動の影響を直接受けます。

### カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となる場合があります。新興国への投資には先進国と比べて大きなカントリーリスクが伴います。

新興国の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。

新興国においては、先進国と比較して証券の決済、保管等にかかる制度やインフラストラクチャーが未発達であったり、証券の売買を行う当該国の仲介業者等の固有の事由等により、決済の遅延、不能等が発生する可能性も想定されます。そのような場合ファンドの基準価額に悪影響が生じる可能性があります。

実質的な投資対象である証券が上場または取引されている新興国の税制は先進国と異なる面がある場合があります。また、税制が変更されたり、あるいは新たな税制が適用されることにより、基準価額が影響を受ける可能性があります。

### その他

解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため、組入証券を売却しなければならぬことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押し下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合基準価額が下落する要因となります。

ファンド資産をコールローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合基準価額が下落する要因となります。

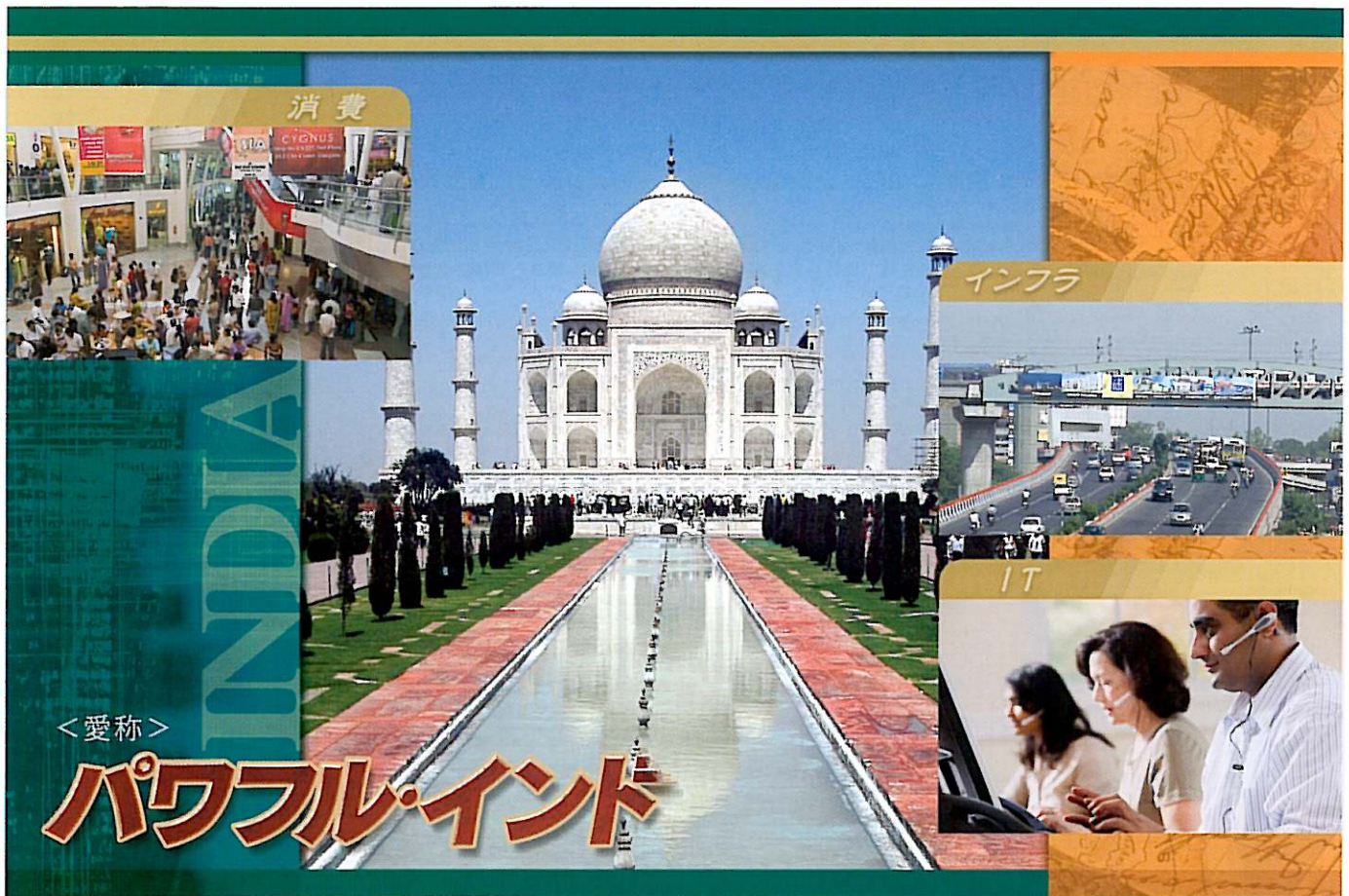
受益権の口数が30億口を下ることとなった場合等には、信託を終了させることがあります。

通常と異なる状況において、お買付・ご換金に制限を設けることがあります。

# ダイワ・インド株ファンド <愛称> パワフル・インド

追加型投信 / 海外 / 株式 ※課税上は株式投資信託として取扱われます。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



<愛称>

## パワフル・インド

### 🌀 ファンドのリスクについて

株式など値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、株式などの価格下落や、発行企業・発行体の経営不安、倒産等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

- ① 株式へ投資するリスク(価格変動リスク、信用リスク、新興国株式市場への投資リスクなど)
- ② 株価指数先物取引の利用に伴うリスク
- ③ 外貨建資産への投資リスク(為替変動リスク、カントリー・リスク、新興国市場のリスクなど)
- ④ その他のリスク(解約時のリスク、短期金融資産の信用リスクなど)

※詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

目論見書のご請求・お申込みは…

## 日の出証券

Hinode Securities

〈販売会社〉

商号等 日の出証券株式会社  
 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第31号  
 加入協会 日本証券業協会

設定・運用は…

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
 加入協会 社団法人 投資信託協会  
 社団法人 日本証券投資顧問業協会

# 特色 ～ ファンドの特色

## 1 高成長が期待できるインドの企業の株式<sup>\*</sup>に投資します。

主として、ダイワ・インド株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます)の受益証券を通じてインドの企業の株式<sup>\*</sup>に投資し、信託財産の成長をめざします。<sup>\*</sup>DR(預託証券)を含みます。

DR(預託証券): Depositary Receiptの略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

## 2 インドの企業の株式から、企業のファンダメンタルズ、成長性等を総合的に勘案して銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

## 3 マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、 SBIファンズ マネジメント プライベート リミテッドの助言を受けます。

- インド最大の国有の商業銀行であるインドステイト銀行(State Bank of India)傘下の運用会社で1992年2月の設立。インド国内向け投資信託、オフショアファンド、ポートフォリオ・マネジメント・サービス(内外機関投資家向け運用・助言サービス)の事業を手掛ける。
- 運用チームはインド最大級で、Moody'sやLipper、CNBC/S&Pから優秀ファンドおよび運用会社として数多くの賞を受賞している。

※為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。

※大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## 4 毎年3、6、9、12月の各7日(休業日の場合、翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

〈収益分配のイメージ図〉



※分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等とします。

※原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

※上図はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

# パワフルな成長のカギ

IT産業を中心としたサービス業がけん引役となって、インドは飛躍的に成長してきました。インドがさらなる、ダイナミックな成長を達成するカギは、インフラ投資と消費であると考えられます。

## IT (情報技術) 産業の発展



莫大なインフラ  
(社会基盤) 整備



インドの  
高成長の  
原動力

巨大な消費市場



インドがさらなるパワフルな成長を達成するカギ

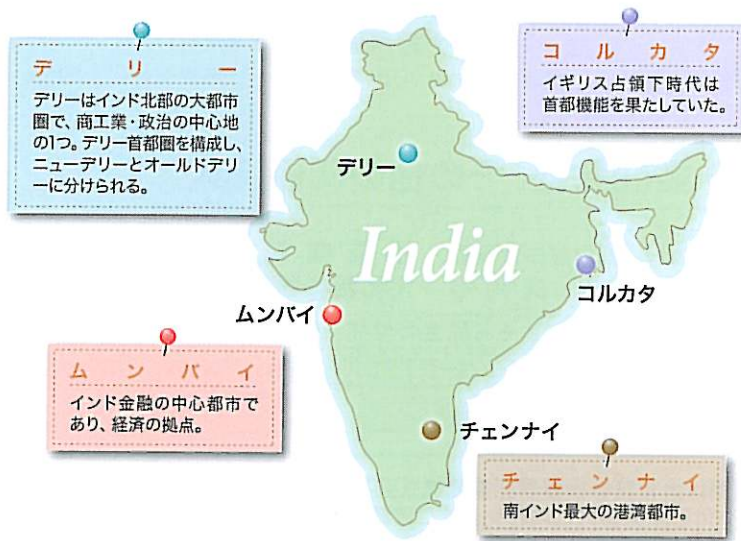
# インドってどんな国?

## インドという国について

人口	11億9,800万人(2009年3月公表)
面積	約329万km <sup>2</sup> (日本の約8.8倍) インド政府資料。パキスタン・中国との係争地含む。
首都	ニューデリー
言語	ヒンディー語、英語、 ウルドゥー語、ベンガル語等
通貨	ルピー
主要産業	IT産業、工業、鉱業、農業

出所: 国連、外務省、JETRO

## インドの4大都市



## 算数を得意にするインドの教育

最近、日本ではインド式計算法の本が話題になっていましたが、どうしてインド人は、そんなに数字に強いのでしょうか。インドでは、小さい頃から「数字で遊ぶ」ことが学校や家庭で取り入れられています。こうした子供の頃から、数字に親しんでいることが「数字に強いインド人」を支える理由となっているのかもしれませんが。

$$\begin{array}{r}
 3+7=10 \\
 \text{---} \\
 36 \times 76 \\
 \text{---} \\
 3 \times 7 + 6 = 27 \\
 \text{---} \\
 = 2736
 \end{array}$$

1の位は同じ数字  
6×6=36

例えば、10の位の数字同士を足すと10になり、1の位の数字が同じ場合の2桁のかけ算の法則。

まずは、1の位の数字同士を掛け合わせて36。次に10の位同士を掛け合わせてから、1の位の6を足して27。これをつなげた「2736」が答えとなります。

